

# 富士山に魅せられて

富士山に魅せられてから 10 年になります。

富士山の写真を撮影したのは、今宮の茶畠というところに、写友と撮影に行ってその美しさに魅了されてどうやって表現したらいいんだろう？と試行錯誤して写真の道に迷い込みました。

浜松富嶽会というクラブに入れていただき、先輩達の写真を見ながら負けないようにと、色々勉強して毎年お正月に展覧会に出品する作品を撮り溜めるのですが、行けばいいのが撮れるとは限りません。最初はまぐれでいいのが撮影できることもありますが、富士山の撮影は夜討ち朝駆けなのです。

夜明けの 1 時間前からスタンバイして朝の光を撮影します。それには夜 10 時頃に家を出て現地に 2 時頃着いて朝の風景を撮影します。年間 60 回は行くのでもう 600 回は行った計算になります。

車も年間 30000 キロは乗ります。

よく私の写真を見て実物とどちらが綺麗？と聞かれることがあります。実際の自然の美しさは表現しきれません。太陽、月、星、霧、雲海、花、紅葉と撮影テーマは限りありません。

昨年富士山写真家としては名誉ある富士山大賞という賞をいただき今年は静岡県観光協会長賞というのをいただきやっと富士山写真家としては一人前になったかな？と思っています。

あっという間に 10 年が過ぎ去りましたが、1 日でも長く写真が撮れるように、健康寿命が長く続くようにテニスを楽しくやっております。段々テニスは下手になりますが、よろしくお願いします。

村松俊夫



富士山大賞（2023 年）



静岡県観光協会長賞（2024年）